



徵集猶豫願

に就て

帝國總領事館 成瀬 廉

國民は納税と兵役の二大義務を負ふてゐるに依つては此等義務を明示してゐるも明示してゐないものもあるが國民皆兵は現下の實狀であつて...

明治二十年四月十六日より 明治三十二年十二月一日までの間に生れた諸君である。 猶豫願を別に定まつてはゐないが自分が便宜の爲めこれよりからと思ふものを掲げる。

明治二十年四月十六日より 明治三十二年十二月一日までの間に生れた諸君である。 猶豫願を別に定まつてはゐないが自分が便宜の爲めこれよりからと思ふものを掲げる。

徵集猶豫願 本籍 縣 郡 村 大字 番地

右者左記肩書地在留滞在候間本年 度徵集猶豫願被成下度此段奉願候也 伯國 州 線 驛 耕地在留

在留證明願 本籍 縣 郡 村 大字 番地 戶主平民某何男

在留證明願 前項の猶豫願に添付すべき在留證明は左記離形により當館宛願出でねばならぬ

在留證明願 證明手続料 證明願は二通提出すを要し同時手続料として伯貨...

合同送金の便 前記手続料は可成多數聯合して送金する方が相互利便が多いから諸君はお互に...

サンタカーザ寄附者芳名並金額(第廿五回) (九月卅一日迄)

Table with columns for names, amounts, and locations. Includes names like 神田榮太郎, 金山喜三郎, etc.

伯國日本人青年會 鳥取縣東伯郡米村字下福田 東洋移民取扱 明治四十五年 神奈川丸にて渡航

尋人 伯刺西爾移民組合 リベロンブレト出張所 Caixa Postal 290, Ribeirão Preto

Table with columns for names, amounts, and locations. Includes names like 上村ヒサヘ, 赤堀吟藏, etc.

大澤商店 穀物仲買廣告 但しノロカバナ線及ノロエスタ線に限る

伯刺西爾拓殖會社 イグアペ植民地 當植民地は醫師、獸醫、農業技師、測量技手、園藝得業士等當置し植民地の保護誘掖上必要なる組織を有す

BEBIDA ESPECIAL FABRICA DE GAZOZA ARAÇATUBA 高橋商店より出張 尚美利其比植民地入植者に對し便宜を與ふ



ドットル、カーロ

馬を拜借し得た、外套を前鞍に結びつけ、地圖一葉を懐中にした身軽な...

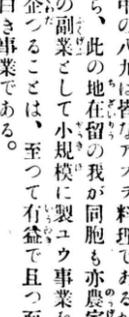
植物性の油及蠟類

伯國には植物性の油としてマモナ油が産出するので世界に其の名を馳せ...

用にはせぬ。ペンキ、ワニス、インキ等の製造用である。乾性の黄色である、食用、油紙、合羽用、防水布の製造用...



地球廻轉の證據 赤髮 赤髮の紳士、つまり血の循環が良いからさ。



子供俱樂部 凸坊、君此の地球は毎日ぐるぐる廻轉するんだよ。





長崎高橋 平内

第十一席 平内宗與破りの事
毛和家の使者工藤七五郎は傲然とし
て七イヤ承知致した、仰せまでも
ごさらの一應改めて受取り申すべし
と平内の細を解いて鼠木綿の單衣を
着た外に鼠紙一枚持つて居らぬのま
で篤見届け七ツム確に受取り申
した、ソレ縛り上げいと、聲に應
じて豫て用意をなしたるものか、別
仕立の太い細を取り出し、四五人掛
でキリキリと情け用捨も荒々しく高
手小手に引括つた、大抵の人間なら
ば細の痛みに閉口して若くならぬの
であります、豪膽極まる上に不死身
です、夫れで宜しうござるかな、氣
まぐれな天竺浪人、取逃さぬ御用心
が肝要でござる、と工藤七五
郎は目角立てて七イヤ負惜みの
世迷言を申す、キリキリ立てッ
と細を平内を穿へり込らした、豫
て毛和家の使者共は何と云はうも
無理にも受取つて歸る意りて穿と
用意を致して參つたものと相見え
す、デ、一途中で取逃してはならん
といふので使者頭の工藤七五郎を始
め笠井平馬、杉原平九郎、豊野開平、
秋月庄太郎、山田鐵雄など、いふ毛
利家屈指の若侍九人若黨仲間に至
迄何れも一粒選の強奴ばかり總勢
十六人鬼をも挫がんと勢ひに乘込
で參つたのであります、案外苦情な
しに引渡したご故皆々大いに打落
び、七五郎は心地好に龜井家の家
臣を顧み七イヤ、何うもお氣
の毒千萬でござるな、若しもお引渡
しに相成らぬといふ其時には腕盡く
にても申受ける覚悟で參つたので
ござるが、イヤ穩かにお引渡し下
つて先々結構、マ、念佛の一返も唱
ておやりなされ」と傍若無人の大言
を拂ひながら連れて來た仲間を格
せ十六人の同勢は半與の周圍をぐる

リと取巻き事も嚴重に警固いたして
立歸りました、これを見送る老臣始
め一同の方々は言合はさねど奥向を
バリバリと咬んで居つた、城下の町
人共も何時しか此事を聞傳へて陰々
から御城下外れまで見送りに出で
て、惜いお方を殺さねばならぬ
か、龜井家の勇士を失ひましたらぬ
長い物には巻かれろといふ響へはあ
るが、大藩小藩は斯うも割の違ふも
のか、大藩小藩は斯うも割の違ふも
り、取分けて三輪屋一家の敷き
は一方ならず、第一お里は氣も狂亂
して敷き悲しんで居ります、有様は傍
に相成らぬ」と周章狼狽平内兵衛
に躍り掛らんとする、此方は平内兵
衛が表に出るや素早く小川を後に仁
王立ち大手を擡げて睨め廻し平
ア、毛和家の犬武士共能く承はれ、
此の平内は有望のある身の上、今汝
等の手に掛つては少しばかり都合が
悪いのだ、今こそ誰憚らぬ天下の
浪人、其の浪人の腕前をイザ、見
せてやらう」と迷早前に進んだ笠
井平馬の横面をキリキリと、曲れ
ばかりに毆打り付ると、アツと叫ん
で、ヨロヨロと來た所を足で擡げて
トと蹴つたから五六間向ふへフツ飛
んで往つた、續いて打つて掛る山田
鐵雄を引摺り身を沈まして小手返し
傍の泥田の中へ真逆様に投げたり、
剛氣の工藤七五郎も此の有様に仰天
し、キヤ、却々手剛き曲者だ、
所詮生取りにはなるまじ苦しからず
斬て棄てよ」と呼はつて、ギラリ
と一刀を抜き連れ左右から斬つて掛
り、平内如何に萬夫不當の武士
なりとも得物なくして十五六本の白
刃を左右から受けては堪まりませぬ
是非なく後へ二三歩四五歩ダグ
と退がるよと相見えした。

せは、さしも丈夫に拵へた別誂への
麻繩がぶつたりと切れた、此の物音
に驚いたる工藤七イヤ、半與の
中が怪しい、ソレ油斷をするな
と押取り刀でバリバリと皆々與
の周圍へ寄つた、時しもあれ中より
大喘一聲、平ア身が自由になつ
た以上は千人力だ、何奴此奴の用捨
生することがあります、これは世人
にキリスト教なるものを誤解せし
むる一の原因であります。

Advertisement for ANTUNES DOS SANTOS & COMP. AGENTES DAS COMPANHIAS NIPPON YUSEN KAISHA :: OSAKA SHOSEN KAISHA. Includes shipping schedules for 大坂商船會社定期船 and 日本郵船會社定期船.

告示 (Notice) from 帝國總領事館 (Imperial Consulate). Text: 今般當館に於て在留日本人土地所有者名簿を...